

2020 年度  
(第 6 期)  
**事業計画書**

自 2020 年 1 月 1 日  
至 2020 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

## 2020年度（第6期）事業計画書

### 1. 公益目的事業

#### (1) 助成・褒賞事業（公1）

地域医療の振興に関わる活動等に対する助成と褒賞（定款第4条第1項第1号）

「杉浦地域医療振興助成」、「杉浦地域医療振興賞」の第9回の募集・選考・授与と第8回助成の成果報告会を実施します。

##### A. 第9回杉浦地域医療振興助成を下記要領で募集します。

助成の対象	「地域包括ケアの実現」「健康寿命の延伸」の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体。
助成の内容	「杉浦地域医療振興助成」として個人・団体に対して総額 2,000 万円を助成。 研究分野は、総額 1,500 万円で、1 件につき 300 万円を限度 活動分野は、総額 500 万円で、1 件につき 50 万円を限度 助成金交付日 2020 年 5 月 29 日に交付。
募集、選考等	募集要項等のホームページ掲載のほか、学会、団体等への情報発信により告知し、応募者の中から選考委員会が選定。 募集期間 2020 年 1 月 1 日～2020 年 2 月 29 日
その他	2020 年 7 月 9 日に授与式と前年度の成果報告会を実施。

##### B. 第9回杉浦地域医療振興賞を下記要領で募集します。

褒賞の対象	地域医療振興の分野で、顕著な業績をあげ、継続して活躍中の個人・団体。
褒賞の内容	「杉浦地域医療振興賞」として個人・団体を褒賞。 正賞 記念品、副賞 金 200 万円を上限として総額 1,000 万円
募集、選考等	募集要項等のホームページ掲載のほか、学会、団体等への情報発信により告知し、自薦・他薦を問わず被推薦者の中から審査委員会が選定。 募集期間 2019 年 10 月 1 日～2019 年 12 月 31 日
その他	2020 年 7 月 9 日に授与式を実施。

##### C. 杉浦地域医療振興助成を受けた方の論文投稿支援

助成対象の研究論文の投稿を支援するため、掲載料の支給等を行います。

収支予算書（助成・褒賞事業）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	42,185,500	40,372,400	1,813,100
消耗品費	10,000	25,000	△15,000
印刷製本費	1,940,000	1,440,000	500,000
その他	1,940,000	1,440,000	500,000
諸謝金	2,400,000	1,700,000	700,000
選考委員謝礼	1,400,000	1,700,000	△300,000
その他	1,000,000	0	1,000,000
租税公課	980,500	642,400	338,100
支払助成金	20,000,000	20,000,000	0
支払寄付金	10,000,000	10,000,000	0
広告宣伝費	120,000	260,000	△140,000
会議費	4,466,000	4,081,000	385,000
助成・褒賞贈呈式会議費用	4,116,000	3,731,000	385,000
選考委員会議費用	350,000	350,000	0
旅費交通費	2,139,000	2,124,000	15,000
選考委員旅費交通費	469,000	599,000	△130,000
贈呈式参加者旅費交通費	1,170,000	1,125,000	45,000
その他	500,000	400,000	100,000
通信運搬費	130,000	100,000	30,000
経常費用計	42,185,500	40,372,400	1,813,100
評価損益等調整前当期経常増減額	△42,185,500	△40,372,400	△1,813,100
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△42,185,500	△40,372,400	△1,813,100

経常費用予算は4,219万円で、前年度予算と比較して181万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 報告集の頁数増・作成数増を見込んで印刷製本費を増加させたこと（+50万円）
- オリンピック・イヤー特別ゲスト講演に係る謝金を計上したこと（+100万円）
- 前年度実績等を勘案して、会議費、旅費交通費、通信運搬費、租税公課を増加させたこと（+77万円）、消耗品費、諸謝金、広告宣伝費を減少させたこと（△46万円）

(2) 調査・研究事業（公2）

地域医療の振興に係る社会実験への助成、参画（定款第4条第1項第2号）

A. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会を東京にて年5回（1月、3月、5月、9月、11月）開催します。都市に住む高齢者が住み慣れた地域に住み続けることを前提に、これを支援する多職種協働のあるべき姿を追究していきます。

また、同研究会講演集 Vol.6 の発行を予定しており、既発行のものを含め、希望者に無料にて贈呈します。

なお、同研究会での講演内容は、「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」のコンテンツに活用します。

収支予算書（調査・研究事業A）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	6,416,300	7,121,640	△705,340
印刷製本費	2,960,000	2,962,000	△2,000
その他	2,960,000	2,962,000	△2,000
諸謝金	550,000	660,000	△110,000
セミナー講師謝礼	400,000	480,000	△80,000
その他	150,000	180,000	△30,000
租税公課	533,300	478,640	54,660
会議費	1,350,000	1,500,000	△150,000
研究会会議費	1,350,000	1,500,000	△150,000
旅費交通費	1,000,000	1,500,000	△500,000
研究会会員旅費交通費	800,000	1,260,000	△460,000
その他	200,000	240,000	△40,000
通信運搬費	23,000	21,000	2,000
経常費用計	6,416,300	7,121,640	△705,340
評価損益等調整前当期経常増減額	△6,416,300	△7,121,640	705,340
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△6,416,300	△7,121,640	705,340

経常費用予算は642万円で、前年度予算と比較して71万円減少しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 前年度実績等を勘案して、通信運搬費、租税公課を増加させたこと（+6万円）
- オリンピック・パラリンピックに伴い、研究会の開催を1回減らしたこと（△76万円）

B. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会を東京にて年5回（2月、4月、6月、10月、12月）開催します。地域包括ケアの中で、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働のあり方を追究していきます。

なお、同研究会での講演内容は、「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」のコンテンツに活用します。

収支予算書（調査・研究事業B）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	2,794,000	3,090,000	△296,000
印刷製本費	10,000	12,000	△2,000
その他	10,000	12,000	△2,000
諸謝金	550,000	660,000	△110,000
セミナー講師謝礼	400,000	480,000	△80,000
その他	150,000	180,000	△30,000
租税公課	204,000	180,000	24,000
会議費	1,265,000	1,500,000	△235,000
研究会会議費	1,265,000	1,500,000	△235,000
旅費交通費	750,000	720,000	30,000
研究会会員旅費交通費	550,000	480,000	70,000
その他	200,000	240,000	△40,000
通信運搬費	15,000	18,000	△3,000
経常費用計	2,794,000	3,090,000	△296,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,794,000	△3,090,000	296,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,794,000	△3,090,000	296,000

経常費用予算は279万円で、前年度予算と比較して30万円減少しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 前年度実績等を勘案して、旅費交通費、租税公課を増加させたこと（+5万円）
- オリンピック・パラリンピックに伴い、研究会の開催を1回減らしたこと（△35万円）

C. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会を名古屋にて年9回（1月、2月、3月、5月、6月、8月、10月、11月、12月）開催します。また、2020年9月25日には、公開シンポジウムを開催します。「これから生まれてくる人のために2060年までをどうデザインするか」をテーマに、その「プラットフォーム」を策定するに際して、問題点を明確にしたうえで、その解決方法を追究していきます。

収支予算書（調査・研究事業C）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	7,934,950	8,831,160	△896,210
印刷製本費	1,934,500	2,944,500	△1,010,000
その他	1,934,500	2,944,500	△1,010,000
諸謝金	1,550,000	1,890,000	△340,000
セミナー講師謝礼	920,000	1,320,000	△400,000
その他	630,000	570,000	60,000
支払手数料	20,000	20,000	0
その他	20,000	20,000	0
租税公課	580,450	514,160	66,290
広告宣伝費	300,000	600,000	△300,000
会議費	2,010,000	1,315,000	695,000
研究会会議費	1,170,000	765,000	405,000
セミナー会議費用	840,000	550,000	290,000
旅費交通費	1,420,000	1,450,000	△30,000
研究会会員旅費交通費	1,400,000	1,400,000	0
その他	20,000	50,000	△30,000
通信運搬費	120,000	97,500	22,500
経常費用計	7,934,950	8,831,160	△896,210
評価損益等調整前当期経常増減額	△7,934,950	△8,831,160	896,210
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△7,934,950	△8,831,160	896,210

経常費用予算は793万円で、前年度予算と比較して90万円減少しています。主な要因は、以下のとおりです。

- ▶ 前年度実績等を勘案して、会議費、通信運搬費、租税公課を増加させたこと（+78万円）、印刷製本費、諸謝金、広告宣伝費、旅費交通費を減少させたこと（△168万円）

D. 健康寿命延伸と介護予防を考える会

健康寿命延伸と介護予防を考える会を名古屋にて年6回（1月、3月、5月、7月、9月、11月）公開シンポジウム形式で開催します。70歳以降に要介護状態になることなく、可能な限り長く自立して生きていくために、今後の我が国での健康寿命の延伸方策を模索していきます。

なお、同会での講演内容は、「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」のコンテンツに活用します。

収支予算書（調査・研究事業D）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,782,600	6,466,080	△4,683,480
印刷製本費	12,000	2,952,000	△2,940,000
その他	12,000	2,952,000	△2,940,000
諸謝金	720,000	960,000	△240,000
セミナー講師謝礼	540,000	480,000	60,000
その他	180,000	480,000	△300,000
支払手数料	0	20,000	△20,000
その他	0	20,000	△20,000
租税公課	96,600	430,080	△333,480
広告宣伝費	0	600,000	△600,000
会議費	600,000	1,090,000	△490,000
研究会会議費	600,000	540,000	60,000
セミナー会議費用	0	550,000	△550,000
旅費交通費	330,000	366,000	△36,000
研究会会員旅費交通費	330,000	360,000	△30,000
その他	0	6,000	△6,000
通信運搬費	24,000	48,000	△24,000
経常費用計	1,782,600	6,466,080	△4,683,480
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,782,600	△6,466,080	4,683,480
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,782,600	△6,466,080	4,683,480

経常費用予算は178万円で、前年度予算と比較して468万円減少しています。主な要因は、以下のとおりです。

- ▶ 前年度予算策定当時は、公開シンポジウムを大ホールにて1回開催することを想定していましたが、規模を縮小して会議室にて複数回開催することとしたため、これに係る印刷製本費、諸謝金、支払手数料、広告宣伝費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、租税公課を削減したこと（△468万円）

(3) 講座・セミナー事業（一般対象）（公3）

その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第1項第6号）

A. 健康増進セミナーの開催

健康増進セミナーを関東・中部・関西の主要都市にて年10回（1月・大阪、2月・東京、3月・三重、4月・兵庫、5月・岐阜、6月・神奈川、7月・京都、9月・埼玉、10月・金沢、11月・愛知）開催し、株式会社スギ薬局の協賛のもと、体組成・骨密度等の測定や、健康相談、講演会を実施します。

収支予算書（講座・セミナー事業（一般対象）A）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	3,862,000	2,114,440	1,747,560
印刷製本費	1,100,000	0	1,100,000
その他	1,100,000	0	1,100,000
諸謝金	1,000,000	600,000	400,000
セミナー講師謝礼	1,000,000	600,000	400,000
租税公課	139,000	13,440	125,560
広告宣伝費	60,000	0	60,000
会議費	70,000	48,000	22,000
セミナー会議費用	70,000	48,000	22,000
旅費交通費	120,000	120,000	0
セミナー講師旅費交通費	70,000	60,000	10,000
その他	50,000	60,000	△10,000
通信運搬費	40,000	0	40,000
減価償却費	1,333,000	1,333,000	0
経常費用計	3,862,000	2,114,440	1,747,560
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,862,000	△2,114,440	△1,747,560
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△3,862,000	△2,114,440	△1,747,560

経常費用予算は386万円で、前年度予算と比較して175万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 健康増進セミナーの開催回数が増加（5回から10回）することから、諸謝金、広告宣伝費、会議費、通信運搬費を増加させたこと（+52万円）
- 健康増進セミナーその他で配布する冊子制作を見込み、印刷製本費を計上したこと（+110万円）
- 上記に伴い、租税公課を増加させたこと（+13万円）

B. 「第2回高齢者とくすりのフォーラム」の開催

「第2回高齢者とくすりのフォーラム」を健康増進セミナーのいずれかと同時開催し、医薬品、サプリメント等の適正使用への理解を深めることに資する講演、討論等を実施します。

収支予算書（講座・セミナー事業（一般対象）B）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,970,500	1,320,720	649,780
印刷製本費	1,305,000	441,000	864,000
その他	1,305,000	441,000	864,000
諸謝金	150,000	150,000	0
セミナー講師謝礼	150,000	150,000	0
租税公課	165,500	86,720	78,780
広告宣伝費	100,000	15,000	85,000
会議費	0	278,000	△278,000
セミナー会議費用	0	278,000	△278,000
旅費交通費	200,000	340,000	△140,000
セミナー講師旅費交通費	100,000	240,000	△140,000
その他	100,000	100,000	0
通信運搬費	50,000	10,000	40,000
経常費用計	1,970,500	1,320,720	649,780
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,970,500	△1,320,720	△649,780
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,970,500	△1,320,720	△649,780

経常費用予算は197万円で、前年度予算と比較して65万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- 医薬品、サプリメント等の適正使用の啓発冊子の作成、健康増進セミナーとの同時開催、前年度実績等を勘案して、印刷製本費、広告宣伝費、通信運搬費、租税公課を増加させたこと（+107万円）、会議費、旅費交通費を減少させたこと（△42万円）

#### (4) 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）

医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び介護福祉従事者の育成に対する事業（定款第4条第1項第3号）

以下の研修を引き続き実施します。

地域包括ケアを担う薬剤師の為にインターネット研修	医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献することができる薬剤師の育成を図ります。受講者は、研修認定薬剤師制度（公益財団法人日本薬剤師研修センターが全薬剤師の研修受講状況を記録し、一定期間内（新規4年以内・更新3年ごと）に所定の単位を取得した薬剤師をその申請に基づき「研修認定薬剤師」に認定する制度）における集合研修の単位を取得することができます。
--------------------------	--

また、以下の研修を新たに実施するため、カリキュラムの策定とともにeラーニング受講サイトの構築を行い、本年度中の開講を目指します。

健康サポート薬局研修 *公益社団法人日本薬学会の第三者確認委員会から実施機関としての認定を受ける必要があります。	健康サポート薬局（かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能を備えた薬局のうち、地域住民による主体的な健康の維持・増進を積極的に支援する薬局）に常駐する薬剤師として備えておくべき一般用医薬品や健康食品等の安全かつ適正な使用に関する助言や健康の維持・増進に関する相談、適切な専門職種や関係機関への紹介等に関する知識の修得を図ります。研修修了者には、健康サポート薬局の届出に必要な研修修了証を発行します。
調剤補助業務研修	調剤補助業務（薬剤師が調剤の最終的な責任を負うことを前提に、薬剤師以外の者に実施させることが可能とされる業務）を実施する者として備えておくべき薬事衛生上の知識の修得を図ります。

収支予算書（講座・セミナー事業（専門家対象））

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,636,500	3,000,000	△1,363,500
研修事業会費	1,636,500	3,000,000	△1,363,500
経常収益計	1,636,500	3,000,000	△1,363,500
(2) 経常費用			
事業費	6,017,882	4,709,956	1,307,926
印刷製本費	1,700,000	1,100,000	600,000
教材撮影編集費	1,700,000	1,100,000	600,000
諸謝金	750,000	750,000	0
セミナー講師謝礼	750,000	750,000	0
支払手数料	1,914,120	1,655,700	258,420
ID管理費	1,260,000	1,260,000	0
日本薬剤師研修センター認定費	372,000	360,000	12,000
その他	282,120	35,700	246,420
租税公課	348,762	37,256	311,506
広告宣伝費	60,000	200,000	△140,000
会議費	50,000	100,000	△50,000
セミナー会議費用	50,000	100,000	△50,000
旅費交通費	150,000	160,000	△10,000
その他	150,000	160,000	△10,000
通信運搬費	250,000	250,000	0
減価償却費	795,000	457,000	338,000
経常費用計	6,017,882	4,709,956	1,307,926
評価損益等調整前当期経常増減額	△4,381,382	△1,709,956	△2,671,426
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△4,381,382	△1,709,956	△2,671,426

経常収益予算は164万円で、前年度予算と比較して136万円減少しています。主な要因は、研修認定薬剤師となるための研修への需要が落ち着いたためです。

経常費用予算は602万円で、前年度予算と比較して131万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- ▶ 受講コンテンツ数の増加を見込み、印刷製本費、支払手数料を増加させたこと（+86万円）
- ▶ 前年度実施の研修サイトの機能追加、本年度実施予定の研修サイトの構築に伴う減価償却費の増加を見込んだこと（+34万円）
- ▶ 前年度実績等を勘案して、租税公課を増加させたこと（+31万円）、広告宣伝費、会議費、旅費交通費を減少させたこと（△20万円）

## (5) 公益事業共通

講座・セミナー事業（専門家対象）以外は事業固有の経常収益がないため、概して公益事業共通での経常収益にて公益目的事業会計における経常費用を賄います。

### 収支予算書（公益事業共通）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	44,602,590	44,602,620	△30
基本財産受取利息振替額	98,590	98,620	△30
基本財産受取配当金	44,504,000	44,504,000	0
受取寄付金	17,000,000	23,000,000	△6,000,000
受取寄付金	17,000,000	23,000,000	△6,000,000
経常収益計	61,602,590	67,602,620	△6,000,030
(2) 経常費用			
事業費	2,820,000	2,340,000	480,000
給料手当	2,820,000	2,340,000	480,000
経常費用計	2,820,000	2,340,000	480,000
評価損益等調整前当期経常増減額	58,782,590	65,262,620	△6,480,030
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	58,782,590	65,262,620	△6,480,030

経常収益予算は6,160万円で、前年度予算と比較して600万円減少しています。主な要因は、受取寄付金を前年度実績に即して保守的に見積もったためです。

経常費用予算は282万円で、前年度予算と比較して48万円増加しています。給料手当が同額増加することを見込んでいます。

## 2. 一般事業

本年度の役員会の開催は、以下のとおり計画しています。

時 期	会議名 【地 域】	議 題	出席予定者	備 考
3月12日	定時評議員会 【名古屋】	事業報告・決算承認、評議員選任、理事選任等	評議員15名 理事11名、監事2名	
	理事会	杉浦地域医療振興賞承認等	理事11名、監事2名	
7月9日	理事会 【東 京】	業務報告等	理事11名、監事2名	助成・褒賞授与式に合わせて開催
	(臨時評議員会) 【東 京】		評議員15名 理事11名、監事2名	助成・褒賞授与式に合わせて必要に応じて開催
12月10日	理事会 【名古屋】	事業計画・収支予算承認、審査委員・諮問委員・選考委員選任、業務報告等	理事11名、監事2名	

内閣府公益認定等委員会に対して、2020年3月31日までに第5期（2019年度）事業報告書・決算報告書を含めた定期提出書類、また、2020年12月31日までに第7期（2021年度）事業計画書・収支予算書の提出を行います。

収支予算書（一般事業）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	16,000,000	16,000,000	0
基本財産受取配当金	16,000,000	16,000,000	0
受取寄付金	0	2,000,000	△2,000,000
受取寄付金	0	2,000,000	△2,000,000
雑収益	98,590	98,620	△30
受取利息	98,590	98,620	△30
経常収益計	16,098,590	18,098,620	△2,000,030
(2) 経常費用			
管理費	21,741,214	19,428,307	2,312,907
役員等報酬	2,700,000	3,150,000	△450,000
評議員報酬	1,000,000	1,300,000	△300,000
理事報酬	1,300,000	1,450,000	△150,000
監事報酬	400,000	400,000	0
消耗品費	40,000	40,000	0
印刷製本費	3,580,000	1,186,400	2,393,600
賃借料	180,000	180,000	0
支払手数料	305,008	339,008	△34,000
租税公課	738,229	396,855	341,374
給料手当	7,920,000	7,080,000	840,000
支払寄付金	2,780,000	3,680,000	△900,000
広告宣伝費	606,180	306,180	300,000
ホームページ関連費用	606,180	306,180	300,000
会議費	703,500	703,500	0
旅費交通費	933,000	963,000	△30,000
評議員旅費交通費	400,000	400,000	0
理事旅費交通費	380,000	450,000	△70,000
監事旅費交通費	63,000	63,000	0
職員旅費交通費	90,000	50,000	40,000
通信運搬費	384,600	642,600	△258,000
電話料	102,000	102,000	0
その他	282,600	540,600	△258,000
減価償却費	220,697	160,764	59,933
雑費	650,000	600,000	50,000
その他	650,000	600,000	50,000
経常費用計	21,741,214	19,428,307	2,312,907
評価損益等調整前当期経常増減額	△5,642,624	△1,329,687	△4,312,937
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△5,642,624	△1,329,687	△4,312,937

経常収益予算は1,610万円で、前年度予算と比較して200万円減少しています。主な要因は、前年度実績のなかった受取寄付金を見積もらなかったためです。

経常費用予算は2,174万円で、前年度予算と比較して231万円増加しています。主な要因は、以下のとおりです。

- ▶ 財団通信制作費を印刷製本費に計上したこと（+100万円）

- ▶ 前年度実績等を勘案して、印刷製本費、給料手当、広告宣伝費、減価償却費、雑費、租税公課を増加させたこと（+298万円）、役員等報酬、支払手数料、支払寄付金、旅費交通費、通信運搬費を減少させたこと（△167万円）

以 上